日本若者協議会が栗原副代表幹事に提言を手交し意見交換

８月29日、未来選択会議で連携している日本若者協議会の室橋祐貴代表理事他３人が来訪、日本版気候若者会議2022がまとめた提言を栗原美津枝副代表幹事／環境・エネルギー委員会委員長に手交、同委員会副委員長３人と共に意見交換を行った。

栗原副代表幹事（左）に提言を手交する日本若者協議会室橋代表理事とそのメンバー

日本版気候若者会議は、日本若者協議会が主催し、約100人の若者で気候変動対策を協議する市民会議であり、フランスで始まった気候市民会議のように、間接民主主義を補完する政策形成の場となることを目指している。

約１カ月半の議論を経て今年４月に発表された政策提言には、商品へのカーボンフットプリントの表示義務化、エネルギーに関する熟議の日の制定、カーボンプライシングの導入、気候市民会議の開催など、本会の考え方にも近い多岐にわたる具体案が盛り込まれている。

意見交換では、産業界や経営者に期待することとして、具体的なプロジェクトを通じた若者との協働、脱炭素などの取り組みをテーマとする寄付講座の活発化、社会課題への関心が高い学生の積極的な採用といった意見が出された。

また、気候変動への関心が高い層は実際にも環境に配慮した商品を購入している一方で、それらの商品を提供する企業は外資系が多く、国内企業も積極的に消費者への選択肢を用意してほしいという指摘があった。

当会に対しては、特定の業界だけではなく多様な経営者が集まって横断的な議論ができる場として、脱炭素化に伴う産業の構造転換や労働者の移転といった複雑な課題への対応策の検討を期待したいとの声が寄せられた。

No.852　October 2022
経済同友 10

C O N T E N T S

特集１
こどもの未来ラウンドテーブル
－子どもの貧困支援に向けた連携強化－　03

特集２
未来選択会議
第６回オープン・フォーラム
挑戦に満ちた日本への転換
～多様な「生活者」の潜在力を解き放つ　10

特集３
生活者共創社会（前編）
日本が目指すべき将来ビジョン
「生活者共創社会」発表　20

Doyukai Report
2022年度第１回会員懇談会（夏の特別企画）
将棋の魅力と奥深さをめぐって
～日本将棋連盟創立100周年を迎えて～　22

ノミネートメンバー講演会
ユニコーンとなったSmartHRの
成長の軌跡から考える、
日本のスタートアップ育成戦略の要諦　25

Seminar
第1354回 会員セミナー
産総研によるオープンイノベーションの取り組み
石村 和彦 氏 産業技術総合研究所 理事長／
AGC 元・取締役会長／経済同友会 副代表幹事　28

Column
私の一文字　及川 健一郎
「『喜び』を積み重ねる」　02
リレートーク　峰岸 真澄
「個の尊重」　19
私の思い出写真館　大久保 和孝
「人生の転機 先達から学ぶ 本質を探ることの大切さ」　31

新入会員紹介　29
マイナンバーカードの普及促進のため、
寺田総務大臣、河野デジタル大臣、宮坂東京都副知事が来訪　29
日本若者協議会が栗原副代表幹事に提言を手交し意見交換　30